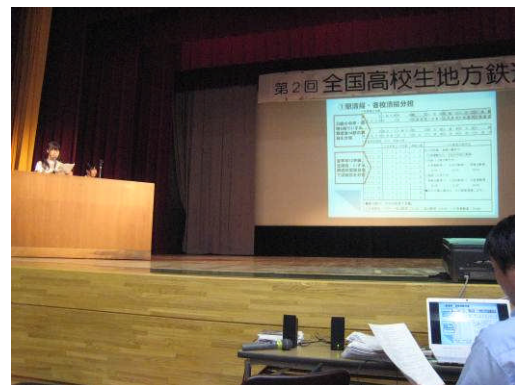


いすみ鉄道関連ニュース 第42号

平成25年9月25日
千葉県立大多喜高等学校
生徒会・いすみ鉄道対策委員会

全国高校生地方鉄道交流会に参加

8月5日(月)に今年で第2回目となる、全国高校生地方鉄道交流会が大多喜町中央公民館で開催されました。3日間にわたり、いすみ鉄道を題材にして、地方鉄道の活性化について意見交換会、取材、プレゼンテーションが行われました。本校のこれまでのいすみ鉄道支援活動が高く評価されたため参加を要請されました。初日の意見交換会に本校生徒会(3D奥山美幸さん、3B磯野千鶴さん、2B岩瀬百葉さん)が代表として出席し、これまでの本校のいすみ鉄道支援活動の取組について発表を行いました。参加校である東京の私立岩倉高校、成城学園高校、安田学園高校の生徒のみなさんたちと活発な意見交換を行い、今後の活動の協力などについても話し合うことができました。



大多喜高校の生徒が、いすみ鉄道の支援活動を報告した。大多喜町中央公民館

いすみ鉄道支援 取り組みを報告

東京の高校生前に大多喜高生

駅の清掃花壇づくり車掌体験...
鉄道ファンの高校生が集まる「全国高校生地方鉄道交流会」が5日、大多喜町中央公民館で始まった。大多喜高校いすみ鉄道対策委員会の3人が東京の高校生ら約80人を前に、同校のいすみ鉄道支援の取り組みについて話した。

交流会は、東京都新宿区の中城・高の鉄道研究部が中心となって昨年からはじめた。「ただ鉄道に乗って写真を撮るだけの活動ではなく、地域の人と交流しよう」というねらいだ。

大多喜高の奥山美幸さん(3年)ら3人は、地域の中学生と一緒に取り組んでいる駅の掃除や花壇づくり、マンドリン・ギター列車の運行、さらには車掌体験などの活動を紹介。存続プロジェクト会議は今年で13回目になると報告した。また、いすみ鉄道の鳥塚亮社長も登壇。「ローカル線が走る風景を次の世代に伝える」と話した。

お城まつりの御案内!!

第39回大多喜お城まつりが9/28(土)~29(日)(雨天中止)に開かれます。大多喜の秋を彩る「大多喜お城まつり」は昭和50年に県立総南博物館(現・千葉県立中央博物館大多喜城分館)が大多喜城本丸跡に建設されたことを記念し開催されたのが始まりで、今年で39回目となります。お祭り当日は、徳川家康公の関東入国に際し10万石を与えられ大多喜城主となった本多忠勝侯一行による武者行列のほか、前夜祭では城下町通りの光アート展など、イベントが盛りだくさんです。いすみ鉄道を利用して、お城まつりを見に来ませんか。

▼写真は去年の様子です。



○生徒会による観光ボランティア(9:00~ 大多喜駅前)

いすみ鉄道をご利用のお客様(先着200名)に抽選券を配布のお手伝いを行います。

○茶道部によるお茶会(10:00~ 大多喜城分館研修室)

茶道部のみなさんによるお茶会が開かれます。

○吹奏楽部による演奏(午後~ 大多喜小学校グラウンド)

[裏面に続きます。]

NHK取材～菜の花ラインに乗りかえて～

9月10日（火）の放課後に実施した駅清掃のときに、NHKによる取材を受けました。これは、NHK千葉放送局開局70周年を記念した番組『菜の花ラインに乗りかえて』（BSプレミア10月9日午後10時から放送）の番組宣伝の一環として、いすみ鉄道沿線の紹介の中で本校といすみ鉄道とのかかわりを紹介するためのものです。菜の花の種まき、マンドリン・ギター列車、駅清掃などの取組について取材を受けました。



日頃から私たちの通学の足となっているいすみ鉄道への感謝の気持ちを込めて駅清掃を行っているという語る場面は印象的でした。これからも継続していすみ鉄道支援活動に取り組んでいきたいという気持ちも伝えました。9月28日（土）にはBSコンシェルジュの公開録画が行われますから、先生方も生徒のみなさんも時間があれば是非足を運ばれたらと思います。（事前に配布した入場券が必要です。）

大盛況マンドリン・ギター列車

いすみ鉄道の列車に揺られながらマンドリンの音色の響きに耳を傾け、車内の皆さんと一緒に歌を口ずさみながら楽しいひと時を過ごす、マンドリン・ギター列車が6月8日（土）に行われました。今年も、読売新聞・千葉日報にて事前の告知をしていただき、当日は、ホームにあふれるくらいのお客さんの数でした。NHKの取材も受け、夕方のニュースで放映されました。遠くは北海道からお越しくださいました。また来年も楽しみにしててください。



読み終わりましたら、保護者の方にも御一読いただきたいと思います。